



マスコミ関係各位

2019年7月8日

明治学院大学社会学部

3.11 ユースダイアログを授業で開催

今だから話せる「被災について」。同世代が共に考える

明治学院大学社会学部社会福祉学科の授業に、大学生と同世代の被災した方をお招きし、JCN(東日本大震災支援全国ネットワーク)による「3.11 ユースダイアログ」を行います。東日本大震災発生以降、復興支援のためのボランティア活動に取り組んできた本学は、JCNの会員校でもあります。

授業「ソーシャルワーク演習 1A」では、ソーシャルワーカー(社会福祉士)が相談援助を行う際の知識の習得を目指し、他者理解やコミュニケーション技法などについて学んでいます。東日本大震災から8年が経ち、震災発生時、小学生だった世代が大学生になり、風化以前に当時のことをよく覚えていない可能性もあることから、担当教員(平澤恵美 社会学部准教授、三輪清子 同専任講師、坂元暁子 非常勤講師)は、震災に関する講義を行いたいと考えてきました。東京ボランティア・市民活動センターに相談したところ、同センターも関係するJCNより、被災時、子どもだった世代が、当時から現在までについて、東京の同世代の若者に語る場を作りたいと考えていたとのお返事をいただき、実現に至りました。

本学学生にとって、被災された同年代の方のお話を伺う機会は貴重です。体験談に加え、被災による自身の価値観への影響や、同年代の被災経験のある人が何を考えて生活しているかを知ることで、自分の生活と重ね合わせることができます。また、社会福祉を学ぶ学生が体験談を伺うことで、「災害時におけるソーシャルワーク」という分野で求められる支援の視点や実際の活動について、より具体的にイメージすることができます。自分と同じ長さの時間を歩んできた同世代の被災した方の経験や思いに触れ、これまで以上に「被災」を自分事として感じ、ソーシャルワークの役割についてより一層考え、ボランティア活動を含め、自分達にもできることについて考えを深めるきっかけになることを目指しています。

ぜひ、本学授業での「3.11 ユースダイアログ」について取材をしていただきたくお願いいたします。一般の方は聴講いただけませんので、記者の方のみに公開いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3.11 ユースダイアログ@明治学院大学

日時: 2019年7月16日(火) 16:45 ~ 18:15

場所: 明治学院大学白金キャンパス ※記者の方に教室を案内します。※一般の聴講はお受けしておりません。

テーマ: ・被災体験と当時感じていたこと

- ・東日本大震災は自分の中で、どのような位置づけにあるか
- ・今の学生や参加者へのメッセージ

登壇者: 20代の当事者2名 ※被災時、小学生と高校生

参加者: 「ソーシャルワーク演習 1A」を履修している明治学院大学社会学部社会福祉学科生

主催: 平澤恵美 明治学院大学社会学部准教授、三輪清子 同専任講師、坂元暁子 非常勤講師
JCN(東日本大震災支援全国ネットワーク)

※当日夜、飯田橋でも「3.11 ユースダイアログ」が行われます。 https://jpn-civil.net/2014/blog/2019/06/jcn20191_311.html

掲載のお問合せは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当: 濱口・圓道

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <https://www.meijigakuin.ac.jp>